

科目名	社会福祉概論		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格/介護福祉士/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

社会福祉原理・理論・対象・分野等、全般についての講義を行う。

#### 授業の概要

少子高齢社会における社会福祉の現状を制度的視点からと共に、専門行動的視点から歴史の変遷を含めて鳥瞰図的にとりあげる。介護を行ううえで疾病や遭遇しやすい事故についての知識を持ち、保健医療関係者及び機関との連携、協力のあり方について学び、介護援助に必要な知識・技術・態度・視点を身につけ、介護の本質について検討する。

#### 学修目標

本科目の学修目標は、(1)わが国の社会福祉制度の概要と各分野における現状の理解、(2)身近に起こっている福祉領域に関する諸問題について、学生個々が関心を持つこと、(3)個々の関心を持つ諸問題の現状と課題についての理解、を目標とする。

#### 内容

1	社会福祉の理念と概念について、社会的歴史的所産として捉え方を学ぶ
2	社会福祉の対象と主体について、現在から過去にさかのぼってその変遷を学ぶ
3	社会福祉のニーズ概念について、需要と供給の関係のもとに検討してゆく
4	社会福祉の発展 について、英国と日本の比較をしながら学ぶ
5	社会福祉法体系について、社会福祉法制度の全体的把握を検討する
6	少子高齢化(1) 少子高齢化の要因について、北欧諸国を中心に考える(ビデオ使用)
7	少子高齢化(2) 少子高齢化の要因について、日本の現状を考える
8	高齢者福祉(1) 介護保険制度の概要と要介護者問題の検討
9	高齢者福祉(2) 介護現場の実際(ビデオ使用) 虐待・抑制について考える
10	中間試験実施(ノート・配付資料持ち込み可)
11	専門職としてのケアワーク(1) 専門職業としてのケアワークを考える
12	専門職としてのケアワーク(2) 他職種としてのケアワークを考える
13	社会福祉援助技術の概要(1) ソーシャルワーク全般について制度組織との関係で紹介
14	社会福祉援助技術の概要(2) F・P・バイステックの7原則、自己覚知、交流分析について
15	まとめ

#### 評価

中間試験(持ち込み自筆ノート・配付資料のみ)及び定期試験の結果を総合して行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

馬場茂樹 / 編著 和田光一 / 編著 『現代社会福祉のすすめ』 学文社，2009年1月。

他オリジナル資料配付

科目名	社会福祉概論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格/介護福祉士/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するのに必要となる科目で、社会福祉の中でも特に福祉政策に焦点化させていく内容なる。社会福祉概論 を学んだ上での授業展開の位置づけである。

講義では、福祉政策と人権視点、福祉政策の具体的課題、福祉政策における争点、公助・共助・自助の組み合わせ方、政府・市場・家族の役割分担のあり方等の事がらを順次学んでいく。

学修目標は次の3点である。福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む)の関係について理解することができる。 ・福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解することができる。 相談援助活動と福祉政策との関係について理解することができる。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### マ数

- 1 福祉政策の論点(効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択と パターナリズム、参加とエンパワーメント、ジェンダー、福祉政策の視座等)
- 2 福祉政策の論点(前回からの引き続き)
- 3 福祉政策における政府の役割
- 4 福祉政策における市場の役割
- 5 福祉政策における国民の役割
- 6 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価
- 7 福祉供給部門(政府部門、民間〔営利・非営利〕部門、ボランティア部門、インフォーマル部門 等)
- 8 福祉供給部門(前回からの引き続き)
- 9 福祉供給過程(公私関係、再配分、割当、行財政、計画、その他)
- 10 福祉利用過程(スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ等)
- 11 福祉政策と教育政策
- 12 福祉政策と住宅政策
- 13 福祉政策と労働政策
- 14 福祉供給の政策過程と実施過程
- 15 授業の総まとめ

#### 評価

中間課題レポート30%、筆記試験70%とし、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には再レポートを提出してもらう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【テキスト】・塩野敬祐・福田幸夫編『現代社会と福祉 - 社会福祉 福祉政策』弘文堂
- ・ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 2011（平成23年版）』ミネルヴァ書房
- 【推薦書】 推薦書及び参考図書は、必要に応じて、授業で随時紹介する。

科目名	医学一般		
担当教員名	高世 秀仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

細菌は、急激な高齢化社会がすすみ、疾病構造の変化がおこり、医療の政策、対策が変化している。そのため、今後は福祉分野の充実が望まれ、健康、病気、老化に関する医学知識は必須である。

本講座のねらいは、福祉・介護の現場に必要な医学の知識を学び、自分の健康について関心を持ち、よりよい対人援助ができる人材を育てることにある。

#### 内容

- 1 医学とは
- 2 成長・発達
- 3 身体のしくみ
- 4 生活習慣病
- 5 心疾患・高血圧・糖尿病
- 6 内分泌・呼吸器・消化器
- 7 血液・膠原病・腎臓
- 8 感染症
- 9 感染対策・難病対策
- 10 先天性疾患・高齢者の病気
- 11 精神疾患
- 12 リハビリテーション
- 13 健康とは
- 14 「死」とは
- 15 まとめ

#### 評価

レポート30点 筆記試験60点 通常の授業態度10点 以上で評価をおこないます。

合格点に満たなかった場合は「再試験」をおこないます。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】社会福祉士養成講座編集委員会 『人体の構造と機能及び疾病』 中央法規

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について理解する。また、相談援助の概念と範囲及びその理念について理解する。

## 内容

1	社会福祉士及び介護福祉士法の概要
2	社会福祉士の役割と意義
3	精神保健福祉士法の概要
4	精神保健福祉士の役割と意義
5	ソーシャルワークにかかわる各種の国際定義
6	ソーシャルワークの概念と範囲
7	相談援助の理念 1 人権尊重
8	相談援助の理念 2 社会正義
9	相談援助の理念 3 利用者本位
10	相談援助の理念 4 尊厳の保持
11	相談援助の理念 5 権利擁護
12	相談援助の理念 6 自立支援
13	相談援助の理念 7 社会的包摂
14	相談援助の理念 8 ノーマライゼーション
15	まとめ

## 評価

レポート40点、試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。但し、合格点に達しなかった場合には再試験を行う。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

「相談援助の基盤と専門職」(新・社会福祉士養成講座)中央法規

科目名	生活学概論		
担当教員名	山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人間生活学部で学ぶすべての科目の基礎となる理論を説くものである。

人間としての生活を考えるうえで、生活の諸相である衣生活・食生活・住生活・家族と家庭生活などについて学ぶことは、よりよい人生を過ごすために大切である。特にこの科目では、高齢期の生活にも重点をおき、問題点や課題などを見だし認識を深める。これらを通して、日常の生活を充実させていくための総合的な視点と思考力を養い、実践できるようにする。授業形態は、講義を中心とするが、視聴覚機器や標本などを用いて現実の生活を想起させ、興味・関心を深めながら進めていく。

学修目標は次の通りである。

生活学概論の基礎的な知識と理論が理解できたか。

生活学概論を学ぶ方法論が身についたか。

他の科目と総合し、学問的な態度をもって実践することができるか。

#### 内容

1	ガイダンス(科目の学び方とその視点)
2	家族と家庭生活
3	家事労働と介護労働 生活時間
4	生活設計 消費者教育
5	高齢者と家族関係
6	被服の起源と役割 被服材料と被服管理
7	人体形態の把握と既製服サイズシステム
8	高齢者と障害者の被服
9	住まいの役割と機能
10	生活行動と住まいのかたち 快適で安全な住まい
11	高齢者と障害者の住まい
12	食生活と健康 栄養素の働き
13	食品の安全性
14	高齢期の食生活
15	総括 理論の実践化にむけて

#### 評価

平常点・課題40% 試験60% 2/3以上出席することで評価を受けられ、合格点に満たなかった場合は再試験を行います。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】必要に応じて随時プリントを配布する



科目名	社会福祉の歴史		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.現代社会における多様な社会福祉制度の諸原理や基礎概念を、その背後にある価値の問題とともに把握し、社会福祉が現代社会に存在する意味を考える。
- 2.社会福祉に関して欧米及び日本の歴史について理解するとともに、社会福祉の理念と意義について理解する。
- 3.社会福祉の法体系及び実施体制を理解するとともに、福祉需要の動向について理解する。
- 4.適宜、タイムリーな話題、事例を引用して身近な内容とする。

内容

1	生活と社会福祉	日々の生活と社会福祉のあり方について
2	現代社会と社会福祉	社会福祉の概念、範囲について
3	社会福祉の歴史：イギリス	社会福祉の発祥について
4	社会福祉の歴史：アメリカ	アメリカにおける発展について
5	社会福祉の歴史：日本 1	日本における前近代、近代の状況について
6	社会福祉の歴史：日本 2	日本における近代から戦後にかけての状況について
7	社会福祉の歴史：日本 3	日本における戦後から現在に至る状況について
8	社会福祉の歴史：日本 4	日本における現代の課題について
9	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの実際について
10	公的責任と行財政	社会福祉の実施責任と費用の関係について
11	社会福祉の実施体制	地方自治体の実施体制について
12	ジェンダーと社会福祉	男女間格差の状況について
13	社会福祉サービスと従事者	実際の現場で働く専門職の状況について
14	直近の動向について	
15	まとめ	

評価

筆記試験(60点)レポート(40点)とし、60点以上を合格とする。但し、合格点に達しなかった場合には再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 社会福祉の原理と思想 有斐閣

【推薦書】 厚生労働白書

【参考図書】 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房

科目名	養護原理		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1 社会的養護される子どもの状況について理解する。
- 2 社会的養護の体系、児童福祉施設、及び里親について理解する。
- 3 児童福祉施設における養護の実際を理解する。
- 4 児童福祉施設の職員の役割などについて理解する。
- 5 児童観、施設及び里親養護観を養う。

## 内容

1	児童養護の概念
2	子どもの権利
3	養育
4	保護
5	治療的援助
6	自立
7	社会的養護の概要
8	乳児院
9	児童養護施設 1
10	児童養護施設 2
11	児童自立支援施設
12	情緒障害児短期治療施設
13	里親養護 1
14	里親養護 2
15	まとめ

## 評価

レポート40点、試験60点とし、60点以上を合格とする。但し、合格点に達しなかった場合には再試験を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

児童の福祉を支える 社会的養護 坂本正路他 萌文書林

科目名	女性と福祉		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

少子高齢社会、人口減少社会となったわが国において、社会保障・社会福祉は、一部の恵まれない人々への恩恵ではなく、あらゆる人々が生活の安定・安心を実現するために、人生のどこかで関わり、利用するものとなっている。福祉の利用者や福祉サービスを担う人々のイメージも大きく変化した。その結果、社会全体の福祉観も変わりつつある。しかし、社会的文化的性差（ジェンダー）が生活問題の発生に影響していることは変わらない。ジェンダー視点をもって福祉の多様な側面を検討することにより、等身大の福祉社会のあり方を考える。

#### 内容

1	少子高齢時代の持続可能な社会のビジョンとは
2	男女共同参画に関する政策・制度の変化とその影響
3	社会保障・福祉サービスに関する政策・制度の変化とその影響
4	家族と労働の変化 - ワークライフバランス
5	児童の環境と出産・育児支援
6	母子・父子家庭の抱える問題
7	高齢者の自立と介護問題
8	障害者（児）の自立支援に関する問題
9	新たな貧困問題とホームレス
10	在日外国人の生活問題
11	売買春・セクハラ・DVの解決
12	福祉の仕事と教育
13	ボランティア・市民活動・NPOの役割
14	福祉を創りだした女性たち
15	レポートの報告と講評

#### 評価

出席および意見の発表・討議への参加態度（20点）、期末レポート（80点）とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：杉本貴代栄『ジェンダーで読む21世紀の福祉政策』有斐閣選書

春日キスヨ『介護とジェンダー』家族社 369.26/K

広井良典『持続可能な福祉社会』岩波新書 364/H

中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波新書 369.1/N

杉本貴代栄『女性化する福祉社会』勁草書房

杉本貴代栄『ジェンダーで読む福祉社会』有斐閣選書 369/S

科目名	相談援助演習		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントを始めとする、社会福祉の専門的援助行為は、利用者と援助者の人間的関係性によって成り立つ。ここに対人援助職といわれる福祉実践の特徴がある。それゆえ将来、福祉職を目指す学生は専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これは他者への十分な理解および自分自身への理解をそれぞれ深めていく力であると言い換えられる。この授業では、福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくのに必要な学生自身の自己覚知を深めることを狙いとする。

#### 内容

- 1、オリエンテーション
- 2、自己覚知その1～4
- 3、価値観と他者への理解その1～5
- 4、援助的コミュニケーションその1～5

#### 評価

授業ごとのふりかえりのレポートおよび最終レポートと授業態度をあわせて評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 ワークブック 『社会福祉援助技術演習 対人援助の基礎』 ミネルヴァ書房

科目名	相談援助演習		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントを始めとする、社会福祉の専門的援助行為は、利用者と援助者の人間的関係性によって成り立つ。ここに対人援助職といわれる福祉実践の特徴がある。それゆえ将来、福祉職を目指す学生は専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これは他者への十分な理解および自分自身への理解をそれぞれ深めていく力であると言い換えられる。この授業では、福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくのに必要な学生自身の自己覚知を深めることを狙いとする。

#### 内容

- 1、オリエンテーション
- 2、自己覚知その1～4
- 3、価値観と他者への理解その1～5
- 4、援助的コミュニケーションその1～5

#### 評価

授業ごとのふりかえりのレポートおよび最終レポートと授業態度をあわせて評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 ワークブック 『社会福祉援助技術演習 対人援助の基礎』 ミネルヴァ書房

科目名	相談援助演習		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントを始めとする、社会福祉の専門的援助行為は、利用者と援助者の人間的関係性によって成り立つ。ここに対人援助職といわれる福祉実践の特徴がある。それゆえ将来、福祉職を目指す学生は専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これは他者への十分な理解および自分自身への理解をそれぞれ深めていく力であると言い換えられる。この授業では、福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくのに必要な学生自身の自己覚知を深めることを狙いとする。

#### 内容

- 1、オリエンテーション
- 2、自己覚知その1～4
- 3、価値観と他者への理解その1～5
- 4、援助的コミュニケーションその1～5

#### 評価

授業ごとのふりかえりのレポートおよび最終レポートと授業態度をあわせて評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 ワークブック 『社会福祉援助技術演習 対人援助の基礎』 ミネルヴァ書房

科目名	基礎介護論		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本講義は介護福祉士養成課程の基幹科目。他の専門科目とも関連し、基本的な概念・知識を理解することが求められる。

#### 授業の概要

1. 介護福祉士を取り巻く状況(介護の変遷・少子高齢社会・家族機能の変化、介護の社会化、介護ニーズの変化)や2. 介護問題理解、3. 介護福祉士の役割と機能を支えるしくみについて学習する。

#### 学修目標

介護福祉士の基盤となる、介護の基礎知識の習得と「尊厳」と「自立」の捉え方について理解を深めることを学修目標とする。

#### 内容

1	前期オリエンテーション	内 容：求められる介護福祉士とは何か
2	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：介護の歴史的変遷 ~相互扶助と慈善救済活動~
3	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：介護の歴史的変遷 ~養老律令と介護行為~
4	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：介護の歴史的変遷 ~恤救規則から生活保護制度~
5	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：介護の歴史的変遷 ~老人福祉法から介護保険制度~
6	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：高度経済成長と家族機能の変化
7	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：核家族と介護の社会化
8	介護福祉士を取り巻く状況	内 容：老老介護と高齢者虐待
9	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	内 容：福祉専門職種資格の変遷
10	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	内 容：介護福祉士の定義と義務規定
11	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	内 容：名称独占と業務独占
12	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	内 容：介護福祉士養成の現状と課題
13	専門職団体の活動	内 容：介護福祉士会の現状と課題
14	専門職団体の活動	内 容：日本介護福祉士会生涯学習制度
15	まとめ	

#### 評価

1. 授業態度、2. 筆記試験、を総合して評価を行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

西村 洋子(編集)『最新 介護福祉全書 3 介護の基本』メジカルフレンド社,平成20年。

他オリジナル資料配付。



科目名	基礎介護論		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本講義は介護福祉士養成課程の基幹科目。他の専門科目とも関連し、基本的な概念・知識を理解することが求められる。

授業の概要

1. 「尊厳を支える介護」、2. 「自立に向けた介護」3. 「介護を必要とする人の理解」4. 「介護従事者の倫理(職業倫理、利用者の人権と介護、プライバシーの保護)」、について学習する。

学修目標

介護福祉士の基盤となる、介護の基礎知識の習得と「尊厳」・「自立」・「倫理」の捉え方について理解を深めることを学修目標とする。

内容

1	尊厳を支える介護	内 容：QOLと介護のあり方
2	尊厳を支える介護	内 容：A.マズローの欲求階層理論と尊厳を支える介護
3	尊厳を支える介護	内 容：ノーマライゼーションと尊厳を支える介護
4	尊厳を支える介護	内 容：ノーマライゼーションからエンパワメント
5	尊厳を支える介護	内 容：憲法25条生存権と尊厳を支える介護
6	尊厳を支える介護	内 容：憲法13条幸福追求権と尊厳を支える介護
7	尊厳を支える介護	内 容：生活保護と尊厳を支える介護
8	介護を必要とする人の理解	内 容：人間の多様性・複雑性の理解～生活史、価値観～
9	介護を必要とする人の理解	内 容：人間の多様性・複雑性の理解～生活習慣、文化等～
10	介護サービスの現状	内 容：介護保険制度の概要～保険者と被保険者～
11	介護サービスの現状	内 容：介護保険制度の概要～介護保険施設の種類とサービス～
12	介護実践における連携	内 容：～他職種連携の意義と目的～
13	介護従事者の倫理	内 容：介護従事者の職業倫理
14	介護従事者の倫理	内 容：介護実践の場で求められる倫理
15	まとめ	

評価

1. 授業態度、2. 筆記試験、を総合して評価を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

西村 洋子(編集)『最新 介護福祉全書 3 介護の基本』メジカルフレンド社,平成20年。

他オリジナル資料配付

科目名	コミュニケーション技術		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

介護福祉士に必要なコミュニケーション理論・技術についての演習を行う。

授業の概要

コミュニケーション技術 では介護におけるコミュニケーションの基本について、（１）コミュニケーションとは、（２）コミュニケーションの基本、（３）コミュニケーションの理論と実際、について演習を展開する。

学修目標

本科目の学修目標は、介護におけるコミュニケーションの基本、について、グループワーク演習を主体としてその理論とスキルを習得することを目標とする。

内容

1	オリエンテーション ～授業の概要～
2	コミュニケーションとは（１）～日常生活におけるコミュニケーション～
3	コミュニケーションとは（２）～日常生活におけるコミュニケーション場面～
4	コミュニケーションとは（３）～日常生活におけるコミュニケーション手段～
5	コミュニケーションの基本（１）～介護福祉士に求められるコミュニケーション能力～
6	コミュニケーションの基本（２）～介護福祉士に求められるコミュニケーションスキル～
7	コミュニケーションの基本（３）～介護福祉士に求められるコミュニケーションスキル～
8	コミュニケーションの理論と実際（１）～自己紹介と他者紹介～
9	コミュニケーションの理論と実際（２）～自己紹介と他者紹介～
10	コミュニケーションの理論と実際（３）～自己開示～
11	コミュニケーションの理論と実際（４）～伝言ゲーム～
12	コミュニケーションの理論と実際（５）～価値交流～
13	コミュニケーションの理論と実際（６）～交流分析と自己覚知～
14	コミュニケーションの理論と実際（７）～リーダーシップ理論～
15	まとめ

評価

課題レポート30%、定期試験70%の結果を総合して行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

介護福祉士養成講座編集委員会（編集） 『新・介護福祉士養成講座 第5巻コミュニケーション技術』中央法規，200

9年。

他オリジナル資料配付

科目名	生活支援技術概論		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちは「生活とは何か」について特に意識することなく、毎日を過ごしている。生活支援を理解するにあたり、最初に生活がどのような側面から構成されているかなど、「生活とは何か」を理解する必要がある。

人としての生活とは、単に生命を維持するためのものではなく、家族、地域や社会とかかわりを持ちながら、人間として尊厳のある暮らしをすることである。援助を必要な人にとって、人間として尊厳のある暮らしとは、どのようなものを、理解することを目指している。

#### 内容

1. 生活とは何か 生活を理解する視点
  - 生活の定義
  - 自立と自律
  - 生活と健康
2. 生活経営とは 生活経営の構成要素
3. 生活支援の基本的な考え方
4. 生活支援における I C F の視点にもとづくアセスメント
  - I C F を活用したアセスメント事例を学ぶ
5. 生活支援における介護予防
6. 生活環境の理解 自宅・施設・グループホーム等

#### 評価

課題レポート(30%)、ペーパーテスト(70%) 60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

1. 生活支援技術とは何か
  - 自立を尊重する生活支援技術
2. 基本となる介護技術
3. アセスメントとは何か
4. 自立に向けた環境の整備
5. 自立に向けた移動の介護
  - 移動の意義と目的
  - 実際の介助の方法
    - 歩行介助・車椅子介助・安楽な体位の保持・体位変換など

#### 評価

課題レポート(30%)、ペーパーテスト・実技試験(70%) 60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房  
 壬生尚美 佐分子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

講義による生活支援技術の理論を学びながら、実技演習を中心に行う。

##### 1. 自立に向けた身じたくの介護

身じたくの意義と目的

整容行動、衣生活に関するアセスメント

生活習慣と装いの楽しみを支える介護

身じたくにおける介護技術

整容・口腔の清潔・衣服の着脱など

身じたくの介護における他職種の役割と協働

##### 2. 自立に向けた食事の介護

食事の意義と目的

「おいしく食べる」ことを支える介護の工夫

食事における介護技術

誤嚥の予防・食事介助の実際

口腔の清潔の介護

食事の介護における他職種の役割と協働

#### 評価

課題・レポート（30%）、ペーパーテスト・実技試験（70%） 60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房

壬生尚美 佐分行子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

特に尊厳の保持・プライバシーへの配慮が必要な支援について、その知識と技術を学ぶ。

##### 1. 自立に向けた入浴・清潔保持の介護

入浴の意義と目的

入浴に関する利用者のアセスメント

入浴・清潔保持における介護技術

一般浴・機械浴・シャワー浴・足浴・手浴など

入浴・清潔保持の介護における他職種の役割と協働

##### 2. 自立に向けた排せつの介護

排せつの意義と目的

排せつに関する利用者のアセスメント

排せつにおける介護技術

トイレ・ポータブルトイレ・尿器・便器・おむつ

排せつの介護における他職種の役割と協働

##### 3. 自立に向けた睡眠の介護

睡眠の意義と目的

睡眠における介護技術

安眠を促す介助方法

睡眠の介護における他職種の役割と協働

#### 評価

課題・レポート（30%）、ペーパーテスト・実技試験（70%） 60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版



【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房  
壬生尚美 佐分行子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	介護過程基礎		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：前期では「基礎介護論」、「生活支援技術概論」「生活支援技術1」を学び、いよいよ様々な場において、展開する介護のプロセスを理解する。また介護実習1を迎えるにあたり、事例や映像、グループワークを活用、利用者をとらえる視点や方法を学ぶ。

科目の概要：個々の利用者の自立を目指し、尊厳を実現するための介護の在り方を理解する。そのため、どのようにして全体的な利用者像に接近することができるか考える。このための手法として、ICFの視点等を生かした介護過程の考え方があり法則があることを学ぶ。その際に利用者への視点の自己の偏りに気づき、修正できる力を育てることが必要である。

修学の目標：

- 1) 介護を行うにあたって一定のプロセスがあることを理解することができる。
- 2) 利用者理解を深める情報収集の分野とその手法を理解することができる。
- 3) 平易な事例に関する情報から、情報収集シートを完成させることができる。

内容

1	オリエンテーション 願いや思いを中心にした自己紹介
2	介護過程を学ぶ意義～暮らしをとらえるために
3	利用者の願いや思いに気づくために
4	介護者の自己理解～私の偏りに気づく
5	在宅生活を送るAさんの理解(1)～情報収集の困難さに出会う
6	在宅生活を送るAさんの理解(2)～様々な情報理解の視点に気づく
7	在宅生活を送るAさんの理解(3)～まとめ
8	ICIDHからICFへ～介護過程の変遷
9	介護過程にICFの視点を活かす
10	施設入居者の事例検討(1)
11	自宅居住者の事例検討(2)
12	情報収集に関する発表(1)
13	情報収集に関する発表(2)
14	まとめ
15	振り返り

評価

提出物30% 筆記試験70% 60点を合格とする

合格点に達しない場合には再試験を行います

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：介護福祉教育研究会編「楽しく学ぶ介護過程」k u m i

推薦書：澤田信子等編「介護過程」ミネルヴァ書房

参考書：随時授業の中で紹介します

科目名	発達と老化		
担当教員名	高木 俊治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士/高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

授業の到達目標及びテーマ

発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の特徴に関する基礎的知識を習得する。

授業の概要

人間の成長・発達から老化をとらえ、身体面での健康課題を理解できる。

内容

授業計画

1. 人間の成長と発達の基礎的理解 : 胎児の成長・発達(遺伝子、細胞分裂、出生)、疾病、障害、老化、リハビリテーション、死、喪、ライフイベントのまとめ
2. 人間の成長と発達 : 発達の定義・発達段階・発達課題・「発達老化曲線」
3. 老年期の発達と成熟 : 老年期の定義(WHO)、サクセスフル・エイジング、高齢者の自己選択
4. 老人福祉法、老人保健法の老人医療制度、少子化問題と高齢者のコミュニティー活動
5. 老年期の発達課題 : 人格と尊厳、老いの価値、喪失体験、セクシュアリティ、他
6. 老化に伴うこころの変化と日常生活 :
7. 老化に伴うからだの変化と日常生活 :
8. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 :
9. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 : 高齢者に多い症状・訴えとその留意点
10. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 : 高齢者に多い症状・訴えとその留意点
11. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 : 高齢者に多い病気とその留意点
12. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 : 高齢者に多い病気とその留意点
13. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 : 高齢者に多い病気とその留意点
14. 保健医療職との連携 : チームケア、保健医療職との連携のポイント
15. 全体のまとめ :

評価

学生に対する評価

試験60点 レポート20点 平常点20点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 新・介護福祉士養成講座 11.発達と老化の理解 中央法規

参考書・参考資料等 授業時、適宜紹介する。

科目名	発達と老化		
担当教員名	蝦名 直美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

内容

評価

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	<b>社会福祉基礎実習</b>		
担当教員名	栗原 直樹、安岡 芙美子、片居木 英人、佐藤 陽 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

社会福祉の実践現場を学ぶ上での基本的姿勢、基本的態度を形成することを目的とし、社会福祉実習の入門的位置づけである。

## 内容

- 1 社会福祉の現場を学ぶ上での基本的な姿勢を形成する。  
必要な社会的スキル（あいさつ、マナー、身だしなみ等）、実習に参加するための手続き（現場の状況に適した服装や立ち振る舞い等）
- 2 社会福祉を学ぶモチベーションを形成する。
- 3 児童、障害、高齢者の主な分野を理解する。
- 4 福祉施設、行政機関等の概要を理解する。
- 5 利用者とのコミュニケーションについての基礎技術を学ぶ。
- 6 施設等における見学、体験実習を行う。
- 7 将来の実習イメージを形成する。

## 評価

授業における実習取組態度、実習記録、及びレポート等をもとに評価する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

学科で作成したものを使用する。

科目名	介護総合演習		
担当教員名	野島 靖子、中村 幸子、宮内 寿彦、新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 介護実習の教育効果を上げるため、実習に必要な知識や技術について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。
2. 介護実習 における実習の意義について理解する。
3. 実習前・中・後に及ぶ介護実習のプロセスを理解する。
4. 介護実習 - 1 から介護実習 - 2 まで介護実習全体の学びを理解する。

#### 内容

- 1 介護実習とは何か
- 2 介護実習の実際、必要な知識と技術について
- 3 介護実習 の実習先の理解
- 4 介護実習におけるコミュニケーションマナー
- 5 介護実習の課題(目標)の立て方
- 6 介護実習の実習計画の立て方
- 7 介護実習における記録の書き方
- 8 介護実習に向けたグループ指導
- 9 介護実習前報告会(介護実習 )
- 10 実習中の指導(巡回指導)
- 11 実習事後指導
- 12 実習報告会

#### 評価

課題レポート、実習に関する記録物、教員との面接により、総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『介護総合演習・介護実習』 中央法規出版

科目名	介護実習		
担当教員名	野島 靖子、中村 幸子、宮内 寿彦、新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* ,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

介護実習 全体のねらい

個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。

実習 - 1

- ・高齢者介護に関わる在宅生活支援事業の概況を理解する。
- ・地域における在宅支援事業の役割と課題を理解する。

実習 - 2

- ・特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者施設等の入所施設の概況と利用者の生活について理解する。
- ・入所施設における基礎的な介護技術を学ぶ。

内容

実習施設・事業 に区分される事業での学外施設実習である

実習 - 1 合計5日間（40時間） 1年生後期

認知症対応型共同生活介護 小規模多機能型居宅介護 デイサービスセンター等

実習 - 2 合計7日間（56時間） 1年生後期

特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者支援施設等の入所施設

評価

実習状況、記録物、教員との面接、実習施設による評価、自己評価などにより、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『介護総合演習・介護実習』 中央法規出版



科目名	精神保健福祉論		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：社会福祉の各分野と深く関連した科目として位置付ける。人間が社会的な存在である以上、こどもから高齢者に至るすべてのライフステージで心身の健康が損なわれる機会があり、とりわけ長期の精神疾患をわずらうことで社会的な不利がもたらされる場合が多い。社会的な制度の立ち遅れや社会的偏見の歴史から、人間の支援に係る専門職の理解がまず重要である。これら課題と展望を学ぶ。

科目の概要：まず、精神保健福祉の意義、精神障がい基礎知識、精神保健福祉制度の概要について理解する。ついで、生活の場及びライフサイクルにおける精神保健福祉の役割について理解し、この中で多様な支援の広がりについて理解する。また、精神保健福祉の歴史的、社会的背景を学ぶ。とりわけ脱施設化、地域での当たり前の暮らしの実現に向けての支援課題を理解する。そのために、地域支援が展開されている市町村や福祉実践の場の見学、発表を行う。

- 学修の目標：
- 1 精神保健福祉の歴史的形成過程を理解する。
  - 2 我が国の精神障がい者の医療、暮らしの実態を理解する。
  - 3 国内外の精神保健福祉の取り組みや新しい動向を理解する。

#### 内容

1	精神保健福祉の課題を考える
2	精神保健福祉の歴史から見た精神障害者施策の概況
3	精神疾患の理解(1)精神保健福祉の理解に必要な主な疾患と対応
4	精神疾患の理解(2)統合失調症とその回復
5	精神科リハビリテーション援助技術～かかわりのスキル
6	精神保健福祉法形成過程の理解
7	様々な回復の「場」から
8	家族支援とその課題
9	生活保護法と退院促進事業の展開
10	地域生活支援に必要な多職種連携の実際
11	イタリアの精神医療改革と我が国の課題
12	当事者からのメッセージ(1)アルコール依存症からの回復
13	当事者からのメッセージ(2)大宮・やどかりの里から
14	課題提出・まとめ
15	振り返り

#### 評価

課題の提出20%、発表30%、最終試験50%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】野末浩之「こころ・からだ・くらし」精神障害者の理解と地域支援 萌文社

【推薦書】大熊一夫「精神病院を捨てたイタリア、捨てない日本」岩波書店

藤本豊編「よくわかる精神保健福祉」ミネルバ書房

野中猛「精神障害リハビリテーション」中央法規

参考図書は随時授業で紹介します

科目名	ボランティア・コーディネーション		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、社会福祉展開科目として福祉に関する「ボランティア」を基本としてとらえる。他の科目として「市民活動論」と関連性がある。講義は、ボランティアに関する知識と推進するための技術としてコーディネーション力を、具体的実践事例を交えながら理解することを内容とする。学修目標は、1.ボランティアについて理解する。2.ボランティアコーディネーションについて理解する。3.ボランティアコーディネーターについて理解する。

内容

1	なぜ人はボランティアをするのか
2	ボランティアについて
3	ボランティア活動の意味
4	ボランティア活動の歴史
5	ボランティアのとらえ方
6	ボランティア活動の課題
7	コーディネーションの必要性
8	コーディネーション機能について
9	ボランティアコーディネーションについて
10	ボランティアコーディネーション事例の検証
11	ボランティアコーディネーターとは
12	ボランティアコーディネーションの視点について
13	ボランティアコーディネーターの価値とは
14	ボランティアコーディネーターの役割について
15	まとめ

評価

学修目標に関するレポート(30点)と、学修目標に基づくペーパーテスト(60点)、通常の授業態度(10点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト

日本ボランティアコーディネーター協会編『市民社会の創造とボランティアコーディネーション』筒井書房

科目名	市民活動論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動法案が成立（1998年）から、すでに10年を超えた。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体（NPO）の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分はごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体であるNPOについて、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。福祉分野のNPOに限定せず、多様なNPOを対象に、現在の私たちの社会におけるNPOの実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視したい。

#### 内容

1	生活主体と公共私領域
2	NPO（民間非営利組織）と非営利革命
3	NPOセクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のNPOを取り巻く制度と環境
6	NPOの活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	NPOの活動事例 - 医療・福祉の分野
8	NPOの活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	NPOの活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	NPOの活動事例 - NPOの支援を行なうNPO
11	NPOの多様性とその課題
12	NPOにおける寄付とボランティア
13	NPOのマネジメント
14	NPOの展開と可能性
15	レポート報告と講評

#### 評価

出席および事例発表等への参加態度（20点）、期末レポート（80点）とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N  
山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y

科目名	ケア論		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ケアリングの理論とそれに関連する思想の理解を深める。対人援助職の基本姿勢、態度の形成を目的とする意味では本授業は社会福祉基礎科目として位置づけられる、本科目は社会福祉の ケア及びケアリングの概念について理解を進め、対人援助職におけるケア及びケアリングの思想の意義を探究していくことをねらいとする。また近年注目されているスピリチュアリティの概念をはじめとした超越性とケアリングとの関連、及びケアリングと癒し(ヒーリング)の関連についても考察していく。 ケアリング概念について説明記述でき、ケアリングそれに関連するテーマや思想的背景について独自の意見を述べるができる。

内容

1	オリエンテーション
2	各定義・概念の整理：ケアの語源、関連する概念
3	根源的なケア経験、ケアの動機
4	メイヤロフのケアリング論(概要)
5	メイヤロフのケアリング論(展開)
6	正義の論理とケアの論理(概要)
7	教育におけるケアリング論：ホリスティック教育論を中心に(入門)
8	教育におけるケアリング論：ホリスティック教育論を中心に(展開)
9	ケアリングとヒーリング(癒し)
10	ターミナルケア：広井のケア学
11	ターミナルケア：キューブラロス、ミンデルの実践
12	対人援助職におけるケアの実践：基本的介護技術の実践、ホリスティック福祉への試論
13	対人援助職におけるケアの実践：事例
14	ケアリングとスピリチュアリティ：ホリスティック理論との関連、WHOでの議論
15	授業のまとめ

評価

授業中のミニレポート30点、最終レポートもしくは試験70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ノットィングス『ケアリング-倫理と道徳の教育 女性の観点から-』晃洋書房

メイヤロフ『ケアの本質』ゆみる出版

モンゴメリー『ケアリングの理論と実践 コミュニケーションによる癒し』医学書院

佐藤学『学びと死と再生』太郎次郎社

吉田敦彦『ホリスティック教育論』日本評論社

谷山洋三 『仏教とスピリチュアルケア』 東方出版

科目名	福祉住環境論		
担当教員名	高間 謙治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

わが国の総人口は、2000年には約1億2千7百万人に達し、そのうちの約17%が65歳以上の高齢者である。今後、急速に少子高齢化が進展することはよく知られるところであるが、少子高齢化社会の到来は、年金、雇用、医療、保険等、生活のあらゆる場面での多くの問題を抱えている。このような変革の時代に高齢者や障害者が地域社会で自立した生活を継続できるように社会全体で支援することが重要となる。

高齢者や障害者が自立した生活をおくるために、その重要な課題のひとつに生活拠点としての住宅の問題がある。超高齢社会の到来を踏まえて、日本の住宅の抱える問題点を考え、住環境整備を進めるための基礎知識や基礎技術について理解を深めるものである。

但し、モデルの制作などを行うため、人数に制限あり。

#### 内容

1	現代の住生活環境
2	100年前の暮らしと現代の暮らし
3	快適な現代生活と家庭電化製品
4	バリアフリーとユニバーサルデザイン
5	安全・快適な住まい（屋外移動・屋内移動）
6	安全・快適な住まい（清掃・洗濯・調理）
7	安全・快適な住まい（起居・就寝）
8	住居の図面
9	住居のトレース1（基本事項）
10	住居のトレース2（平面図）
11	住居のトレース3（立面図）
12	住居のトレース4（断面図）
13	安心できる住生活とまちづくり
14	ライフスタイルの多様化と住まい
15	「終の棲家」の計画

#### 評価

出席30点、及び課題、随時のテスト等による評価70点により行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『福祉住環境コーディネーター検定試験（3級テキスト）』

その他、授業の中で適時参考文献を配布・紹介する。

科目名	レクリエーション援助法		
担当教員名	菅野 清子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人と人との出会いや人とのつながりにおいて、とても意味のある科目です。特に、社会福祉サービスにおいてレクリエーションの果たす役割は大きく、重要と言えます。ここでは、社会福祉サービスにおけるレクリエーションの意味と、人々への日常的な楽しさや心地よさを提供する援助者としての役割について学んでいきます。また、援助者が身につけるためのコミュニケーション技術としてアイスブレイキングやホスピタリティ(心地よさ・人間関係能力)を演習します。これらは、介護コースの科目であるレクリエーション活動援助法につながる、基本的な学修と言えます。

学修目標は、下記の5点です。

1. 人と人との出会いの喜びを体験し、コミュニケーションを深める。
2. レクリエーションは、健康づくりをはじめ社会福祉や教育、地域づくり、環境に至るまで幅広い領域で活用されていることを理解する。
3. ノートやファイルなどを有効に活用し、資料作成を行うと共に、毎時間ごとのふりかえりや記録をとることの重要性を理解する。
4. レクリエーションにおけるホスピタリティについて理解し、姿勢・態度・行動を身につける。
5. コミュニケーション技術に必要な素材やアクティビティを体験し、人前で提供出来るようになる。

#### 内容

1	はじめまして 出会いの喜び アイスブレイキングの体験プログラム
2	レクリエーションの意義 レクリエーションとは何か
3	レクリエーションと社会福祉について
4	レクリエーションの支援 利用者と援助者のあり方について
5	コミュニケーション・ワークの実践 アイスブレイキングの意義 演習
6	レクリエーション援助の素材 アクティビティの研究 演習
7	さまざまな領域におけるレクリエーションプログラムの実践
8	地域とレクリエーションの取り組み
9	レクリエーションにおけるホスピタリティとは トレーニングの重要性
10	レクリエーション援助のための計画づくり
11	レクリエーション事業について
12	レクリエーション援助の提供 演習
13	レクリエーション援助の提供 演習
14	目的や対象に合わせたレクリエーション援助の展開と応用
15	まとめ

#### 評価

課題・レポート20% 演習発表20% 筆記試験40% 授業態度20% 60点以上を合格とします。合格点に満たな



かった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は、特に使用しない。必要に応じてプリントを配布。

推薦書 福祉士養成講座編集委員会編集 新版 介護福祉士養成講座 第3版 レクリエーション活動  
援助法 中央法規出版

ホスピタリティをみかく本 ホスピタリティトレーニング研究会 遊戯社

参考図書 レクリエーション支援の基礎 財団法人 日本レクリエーション協会

その他必要に応じて、随時教室で紹介する

科目名	民法入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

人間福祉学科の学科専門科目として位置付けられている。

#### 科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

#### 科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。

#### 内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)：事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)：不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

【参考書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	言語表現論		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

\*参加型のアクティブラーニングで授業を進めます。

社会で求められているコミュニケーション能力とは何かを理解し

必要なスキルを実践的に学び、「書く」「考える」「伝える」「理解する」力の基礎を身に付ける。

グループワークで、アウトプット、フィードバックの訓練をおこないます。

自分の考えを言語化し、見える状態にすることから始めます。

マインドマップを基本ツールとしてマスターしてもらいます。

## 内容

- 1 この授業の意味と評価の方法。
- 2 コミュニケーション能力とは何か。
- 3 マインドマップというツール
- 4 メディア力を高める
- 5 考える、書く、実行する方法 1
- 6 考える、書く、実行する方法 2
- 7 相手理解と伝える行為 1
- 8 相手理解と伝える行為 2
- 9 伝わる・揺さぶる 1
- 10 伝わる・揺さぶる 2
- 11 アウトプットとフィードバック
- 12 社会が求める言語運用能力とのギャップ
- 13 続けるコツと助け合い
- 14 継続的マップ化
- 15 振り返り

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問を含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール・・・1~7ポイント(提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価・・・D<60 C<70 B<80 A<90 S(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	健康科学概論		
担当教員名	森 三樹雄		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国は先進国として、少子高齢化が社会問題となっており、平均寿命は世界一になりましたが寝たきりの老人は増えております。高齢化と共に、生活習慣病が国民の健康をむしばむようになってきました。生活習慣病には、糖尿病、痛風、肥満、心筋梗塞、脳梗塞、がんなどがありますが、これらの病気の原因、検査、治療を理解することが必要です。その他の病気についても勉強し、幅広い知識を身につけましょう。この講座で、疾病についての基本的な知識を身につけ、自分自身や家族の健康に役立つ知識を習得できます。

#### 内容

1	健康と病気 臨床検査
2	循環器疾患
3	呼吸器疾患
4	消化器疾患
5	肝・胆道疾患
6	腎・尿路系疾患
7	血液・造血器疾患
8	内分泌疾患
9	精神・神経・筋・骨の疾患
10	脂質異常症と脂質代謝
11	自己免疫疾患・膠原病
12	感染症
13	女性生殖器疾患
14	まとめ1
15	まとめ2

#### 評価

ペーパーテストにより評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 森 三樹雄編 『やさしい臨床検査』 南山堂 2008

科目名	公衆衛生学		
担当教員名	田中 茂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

個人や人間集団の健康を保持するために、人間と人間を取り巻く環境、すなわち、生態系を基礎として健康を理解する。更に、地域の場合や労働環境における環境保健、健康保健の意義、組織、予防対策、ならびに、これらの集団の健康保持増進について包括的知識を習得する。

## 内容

1	公衆衛生の概念
2	健康教育とヘルスプロモーション
3	健康と環境・疫学的方法
4	健康の指標（労働衛生管理統計を含む）
5	感染症とその予防
6	食品保健と栄養
7	生活環境の保全（作業環境要素を含む）
8	医療の制度
9	地域保健活動
10	母子保健
11	学校保健
12	生活習慣病・難病
13	精神保健福祉
14	産業保健
15	まとめ

## 評価

筆記試験により、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、再試験を実施する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 清水忠彦編集 『わかりやすい公衆衛生学』ネーヴェルヒロカワ
- 【参考図書】 中央労働災害防止協会編 『新衛生管理』上 第1種用 中央労働災害防止協会  
田中平三、田中茂他 『これからの公衆衛生学－社会・環境と健康』南江堂  
伊達ちぐさ、田中茂他 『管理栄養士講座 改訂公衆衛生学』建帛社  
中村信也、田中茂他 『公衆衛生学』同文書院

科目名	特別支援教育概論		
担当教員名	柳本 雄次、岩井 雄一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-人間福祉学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

障害児教育が「特殊教育」から「特別支援教育」へ制度的転換する中で、従前の特殊教育制度の枠を超えて、地域の通常の学校（学級）においても、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が求められています。本科目は、特別支援教育に関する科目の第一欄の特殊教育の基礎理論に関する科目に該当します。

本講義では、特別支援教育の歴史、法制度を概観するとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に関して、その障害の特性と支援方法を論じ、関係機関との連携の在り方を学びます。

学修目標は、 特別支援教育の基礎を理解すること、 特別支援教育が必要な子どもの障害と教育的支援方法を理解すること、 関係機関との連携について理解すること、の3点です。

## 内容

1	特別支援教育とは
2	障害児教育の歴史と発展
3	特別支援教育の法制度 学校教育法を中心に
4	特別支援教育体制の現状
5	特別支援教育における教育課程の編成
6	障害の理解と教育的支援1) 視覚障害・聴覚・言語障害
7	障害の理解と教育的支援2) 知的障害
8	障害の理解と教育的支援3) 肢体不自由・病虚弱
9	障害の理解と教育的支援4) 情緒障害・自閉症・高機能自閉症（アスペルガー症候群を含む）
10	障害の理解と教育的支援5) LD（学習障害）・AD/HD（注意欠陥/多動性障害）
11	特別支援教育の展開1) 小・中学校における校内支援と連携システム
12	特別支援教育の展開2) 特別支援学校の地域支援と連携システム
13	特別支援教育における関係機関の連携1) 保育所・幼稚園の活用とその利用
14	特別支援教育における関係機関の連携2) 医療・福祉機関の役割とその活用
15	まとめ

## 評価

試験による評価（70点）と中間レポートによる評価（20点）、平常の授業態度の評価（10点）により総合的に行います。合格点を60点とし、合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】使用しません。

【参考図書】湯浅恭正編『よくわかる特別支援教育』ミネルヴァ書房、石部元雄・柳本雄次編著『特別支援教育 理解と推進のために』福村出版、下司昌一編『現場で役立つ特別支援教育八

ンドブック』日本文化科学社

【その他】必要に応じて随時紹介します。